

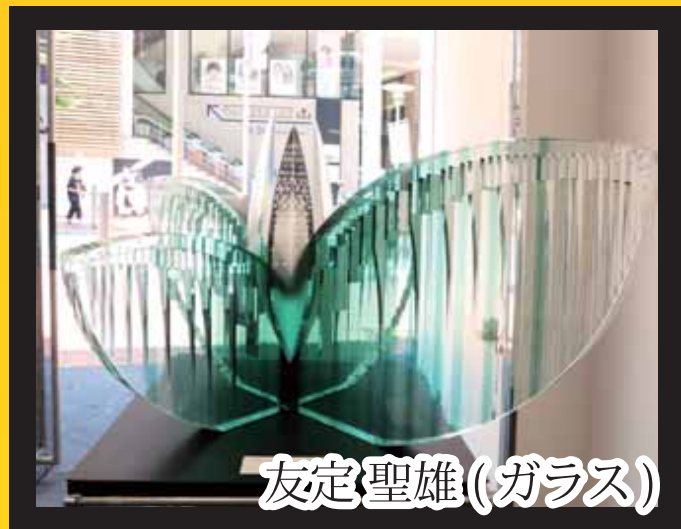
vol.3

# Resonance 5

2015年  
5月21日(木)~26日(火)  
11:00-19:00(最終日は16:00迄)



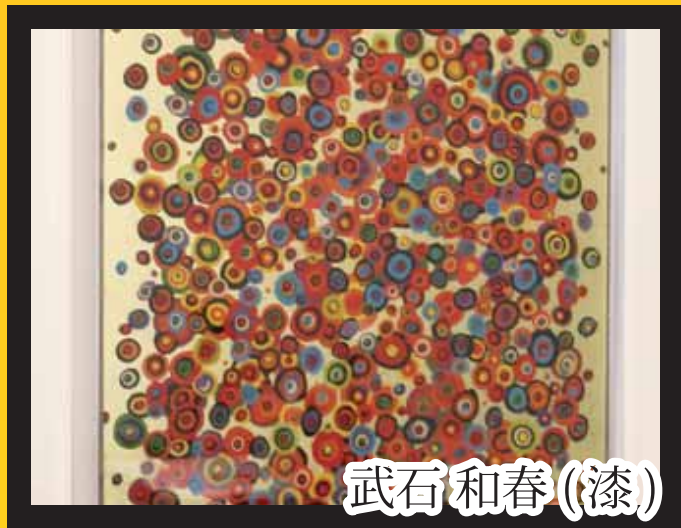
長谷川政弘(金属)



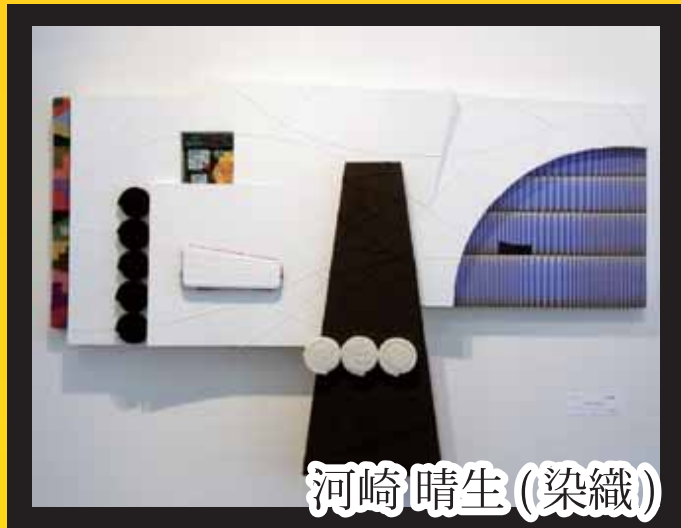
友定聖雄(ガラス)



鍛冶ゆう子(陶)



武石和春(漆)



河崎晴生(染織)



今回の展覧会は、毎年この時期に開催して頂いている工芸作家さん達によるグループ展「Resonance 5」です。

メンバーは金属の長谷川さん、漆の武石さん、ガラスの友定さん、染織の河崎さん、陶芸の鍛冶さんと、様々な分野の作品が集まる、大変豊富な内容になりました。

会場には、それぞれの作家さんの見応えのある大作から、手に入れやすく日常使いしやすい小品までバランス良く並びました。様々な作品の中で今回特に目を惹いたのは、それぞれの作家さんの大作です。

長谷川さんの作品は、蟻をモチーフに鉄を使って精巧に作られており、黒く光るボディと圧倒的な造形力で、とても迫力と存在感がある作品です。

武石さんの作品は、様々な色の漆を使ってデザイン的に描かれています。伝統的な色と幾何学的な模様が絶妙な、モダンな作品です。

友定先生の作品は、花をモチーフに板ガラスを使って作られています。板ガラスの色と透明感が立体にマッチした、爽やかで美しい作品です。

河崎さんの作品は、織りで作られた布地と木で作られた造形を組み合わせたものです。色鮮やかな織りが白と黒で作られた立体造形に映える、新しい彫刻作品です。

鍛冶さんの作品は、土を何層にも重ねることによって形作られています。重ね合わせた土の表情と作品のフォルムからは、手で作られた、たくさんの有機的なラインがあり、とても優しく・穏やかな印象の作品です。

会期中はたくさんの方が来場され、大変賑やかな展覧会となりました。次回はどんな作品に出会えるのか、今からとても楽しみます。